

事業所名 グループホーム 福寿草

作成日: 平成 30 年 10 月 17 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	・年2回の防災訓練は、消防署・地域の消防団の指導にて実施、近隣地域住民参加を呼び掛けているが見学程度で協力体制が構築されていない。	・年2回の防災訓練のどちらか消防署、地域の消防団、近隣地域住民参加の訓練とする。 ・職員への災害通報の方法を電子機器を使用して一斉に配信し、素早い対応を図る。	・地域運営推進会議にて自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族会、消防署参加の夜間想定火災による防災訓練を行う。 (平成 30年 9月 27日実施済み) ・早めに防災計画を策定し、自治会、近隣住民に周知、参加以来の声掛けを行う。 ・災害通知方法を連絡網から電子機器を使用して一斉に配信できる。 (平成 30年 9月 27日実施済み)	6ヶ月
2	35	・気象災害(洪水・大雪・強風・竜巻・雷)、地象災害(地震・津波・土砂・火山現象)態様に応じた細かなシステムの構築がされていない。	・災害の容態に応じた細かなマニュアルを作成する。(避難の判断、場所、経路、手順等細かく作成する) ・3日分の飲料水と食料を備蓄する。	・災害の様態に応じた細かなマニュアル作成を地域の防災士、防災コーディネーターの方と相談しながら作成する。 ・飲料水と食料3日分の備蓄をする。	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。